

東濃



母の日はコレ!
無所属 上休場 満
(瑞浪市稲津町)

多治見支局
〒507-0037
多治見市音羽町4-39
0572(22)3121
Fax(23)5331

恵那通信局
0573(26)2525
Fax(26)5209

中津川通信局
0573(66)1246
Fax(62)0108

可児通信部
0574(62)1501
Fax(61)0270

岐阜支社
〒500-8875
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地
058(265)0191
Fax(262)8706
(販売)(265)0265
(広告)(266)4791
(事業)(265)0267

美術品 高価買受

(秘密厳守)

- 版画
- 絵画
- 掛軸
- 陶器



よく知られた白黒のサッカーボールは五角形十二枚と六角形二十枚のパネルでできている。多治見市元町の元高校教諭堀部和経さん(60)は二十年前、こうした規則性がある多面体を趣味で、ビーズを使い編んでいる。

最新作は「二重の核を包み込むチューブでできた十二面体」。ビーズが多面体を重層的に形成しながら連なる。最奥の立体が何か、一目では分からない。数学的な美しさを求め、面は五、六、七角形でそろえている。

材料はビーズとテグスのみ。紙に設計図は描かない。完成した状態をはっきりとイメージできるからだ。いったんイメージ

元高校教諭

堀部 和経さん(60)＝多治見市元町

シが固まれば、テレビを見ながらでも編める。編んでいると、別のイメージが次々と生まれてくる。

シが固まれば、テレビを見ながらでも編める。編んでいると、別のイメージが次々と生まれてくる。

愛知県春日井市内の高校で三十五年間、数学を教えてきた。四十二歳のとき、立体の模型制作を先輩教諭に頼まれた。一

球の大きな球を三十個の覆っていた。小球を一边とみなせば、五角形の十二面体だ。作ろうちに九十個や百二十個で覆つ形を思い付いた。イ

作り方を本格的に伝える。主な作品は、個人ホームページ「堀部和経」で検索して公開中。「数学の面白さを伝えたい」

小学生から数学者まで幅広く声がかかる。最近、申し込みはメールで。kazunori@horibe.jp (山本真士)



ビーズを使って複雑な多面体を編んでいる堀部さん＝多治見市元町で

数学生かしたビーズ編み